

大原中だより

さいたま市立大原中学校
TEL 048-831-5397
FAX 048-835-1357
第5号

校 訓 「歴史を拓く」

学校教育目標 **はつらつとした生徒、地域に輝く学校** 令和 3年 7月 20日 (木)

メールアドレス:ohara-j@saitama-city.ed.jp ホームページ:http://ohara-j.saitama-city.ed.jp/

『夏休み』

校長 小熊 誠

1 学期、生徒たちが登校した日は、71 日間でした。今年もコロナウイルスの影響で、なかなか先の見えない状態が続きましたが、保護者・地域の皆様のおかげで、何とか大きな事故もなく終えることができそうです。ありがとうございました。これから暑い日が続きますが、どうぞ皆様もお体には十分御留意ください。

7月10日、おっきな青空の下、体育祭が実施できました。沢山の笑顔、そして涙、まさにスローガン通り感謝・感激・感動の素晴らしい体育祭でした。残念ながら今年も、保護者・地域の皆様をお招きすることは叶いませんでしたが、大原の生徒たちは輝いていました。眩しかったです。17日からは、県大会も始まりました。今後の生徒たちの活躍に御期待ください。

さて、明日からは、「夏休み」です。36日間あります。たかが36日と侮ってはいけません。この「夏休み」の過ごし方は今後の中学校生活、もしかしたら人生に大きく影響してくるかもしれません。皆様、是非とも御家庭でお子様としっかりと向き合い、話し合い、「夏休み」に「やり切ること」を決めてみてください。

本日生徒たちに終業式で、「決めたことをやり切る」という宿題を出しました。恥ずかしながら私の話をします。剣道少年だった私の中学2年の「夏休み」の話です。私は、中学1年の7月に足をケガしてしまい、その後約9ヶ月間、剣道はもちろん体育さえもまともにやれない状態となってしまいました。当然、団体戦のメンバーからも外れ、「大好き」だった剣道からも逃げ、部活もサボりがちになっていました。しかし私は、どうしても剣道を、あの試合の感覚を忘れられないでいました。そこで、この夏に最後の勝負をかけてみよう、自分自身に試練を与えることにしました。練習以外に素振り5,000本を目標に掲げました。これが達成できたら、「やり切れたら」また剣道を「大好き」になれるはずそう思い込み、来る日も来る日も竹刀を振り続けました。結果私は、10,000本を達成し、豆だらけの手と充実感、そして大きな自信を手に入れることができました。私の手を見た顧問から団体戦の大將を任されました。この時から初めて仲間に、「俺にもってこい！」と言えるようになりました。私の転機となった、もしかしたら人生の転機となった「夏休み」です。

昨年の学校だより第4号の「置かれた場所で咲きなさい」を思い出してください。1年・2年・3年それぞれ置かれた場所も目標も違うと思います。どうぞ、保護者・地域の皆様、この「夏休み」、自分の置かれた場所で、勝負しようとしている生徒たちに温かい声かけや御支援をよろしく願いいたします。私共教職員一同、8月26日の始業式に笑顔で登校する、自信に満ち溢れ、一回り大きくなった生徒たちの姿を楽しみにしています。

最後に、私が陸上を教えていた選手が東京オリンピックにソフトボールで出場します。教え子での初めてのオリンピックです。背番号9番の選手です。この選手は、中学の時にした前十字靭帯損傷という大きなケガを乗り越えた選手です。今でもテーピングをした膝をみると、彼女の思いと努力に頭が下がります。やはり彼女も「やり切ること」によって自信を手に入れた一人です。どうぞ温かい御声援をお願いします。



希望の登校 笑顔の活動 満足の下校